

進路通信

～ 汝の理想を星につなげ ～



青森県立木造高等学校進路指導部

令和4年6月23日発行 第3号

高校生スキルアッププログラムに参加してみませんか？

高校生スキルアッププログラムについてご紹介します。よくわからなくて参加できない…という人は必見です！

高校生スキルアッププログラムって？

青森県社会教育センターが実施する事業で、知識や経験の幅を広げると共に、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図るもの！



「学校外学修」…って？

学校外学修とは、講座や講演会、体験学習などの様々な学びの場に参加すること。学校活動や授業の一環として実施されるものは除き、**放課後や休日、長期休業中などに実施されるもの**。この「学修」は、自身の見方・考え方をさらに広げ、キャリア形成を図るための学びの追究や地域社会と関わる体験活動等を想定しています。

STEP 1 様々な活動に参加しよう

①講座や講演会に参加！	②ボランティアやインターンシップに参加！	③映像教材を視聴！	④自由課題研究を実施！
 大学の公開講座や市町村民対象の講座等、Web講座やオンライン講演会等も認定。気になる講座を探して参加してみましょう	 ボランティアの募集等を見て、ボランティアやインターンシップに参加してみましょう	 インターネット、DVD、ビデオ等を利用した視聴が認められます（10単位以内）	 自由課題研究を実施することで学校外学修として認められます（10単位以内）

↑ オススメ! ↓

STEP 2 レポートを作成しよう

学校外学修1回につき所定の様式1枚のレポートを作成します。用紙は進路指導室の前にありますので、自由にもって行ってください。書き方はレポート用紙裏面のマニュアルを参考にしてください。

作成したレポートは、奨励証・認定証申請時（20単位・35単位以上修得）まで、大切に保管しましょう。

Q, 単位ってなに？

ここでいう「単位」とは1時間＝1単位です。ただし1つの学修テーマにつき3単位を上限とします。

例：大学の公開講座に6時間参加した！

→レポートを何枚書いても上限3単位

大学の公開講座に3時間、ボランティアに3時間、計6時間参加した！

→2回分のレポートで6単位が取得できる！

Q, これに参加したらいいことある？

20単位以上で奨励証・35単位以上で認定証が交付されます。獲得・向上したスキルは、進学・就職時の面接や小論文・作文等で威力を発揮できるものと期待されます。

公開講座やボランティアなどの案内は進路指導室前の掲示板や、classroomでお知らせしています。各自、興味のあるものを見つけて参加してみましょう。

疑問・不明な点等ある場合はいつでも進路指導部 土岐まで！



3年次学校推薦型・総合型選抜ガイダンス

6月8日（水）、3年次生を対象に「学校推薦型・総合型選抜ガイダンス」をおこないました。

このガイダンスでは、「進路の手引き」を活用しながら、学校推薦型選抜・総合型選抜を利用する際に気を付けなければならないことや受験のスケジュール等について進路指導部の先生から説明があったほか、先輩の体験談などから受験に臨むときの心構えについても説明を受けました。

これから大学選びをしていく際に必要なことは、自分の志望している大学と他大学の同学科との違いを研究することです。同じ学部学科でも大学ごとに学ぶことができる内容や得意としている内容は違います。自分の現在志望している大学でできること、その大学が得意としていることを研究し、自分がなぜその大学でなければならないのかを考えましょう。



総合型選抜って？

総合型選抜は、大学がアドミッションポリシー（大学側が求める人物像をまとめたもの）と合致した人材を探すため、提出書類や面接、小論文など様々な試験を組み合わせ、一人ひとりを丁寧に評価する入試方式です。

総合型選抜で最も強く問われるのは、「あなたがその大学で何を学び、どう将来に活かしていきたいのか」という意欲や情熱。アドミッションポリシーをよく理解し、志望動機や大学での研究内容を具体的に述べられるようにしておく必要があります。大学・学部によって出願資格や選考方法が異なりますので、志望大学がどのような試験を行っているか確認しましょう。

総合型選抜は、9月1日以降スタート、また合格発表日は11月1日以降です。一般選抜は、1月の中旬の土日に共通テストがあり、2月1日から私立の個別試験が始まります。比較すると、かなり早く合格通知を貰える入試です。しかし、進路決定が早いからという理由だけで総合型選抜を受けるのは要注意です。文部科学省は大学入試改革に伴い、総合型選抜を含むすべての入試方式で学力評価するよう方針を打ち出しました。そのため、今後は総合型選抜でも、英語資格試験や、面接、プレゼンテーション、大学入学共通テストなど、何らかの形を通して学力を確認するケースが増えると予測されます。基礎学力の対策も必須です。

1年次職業人講話

6月14日（火）、1年次生を対象に「職業人講話」をおこないました。今回の講演では県地域活力新興課の担当者の方と一緒に、下北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室、日本原燃株式会社、弘果総合研究開発株式会社、株式会社みちのく銀行木造支店から4名の講師の方に来校いただき、講演していただきました。

内容は、①講師の業務内容、②青森県で働いたきっかけや働きがい、地域への貢献・愛着・思いなど、③「しごと」の楽しさ、つらさ、将来の夢、④「しごと」に必要な能力・資格、⑤高校生へのエールです。



様々な職種の方々に講演いただきましたが、共通しておっしゃっていたことは、単にお金のため・生活のためだけに働くのではなく、青森県の人々のためにお仕事をされているということです。今回の講演を聞き、今まで知らなかった青森県の魅力に気づいた生徒もいるのではないのでしょうか。青森県で働いている社会人の先輩方からのお話は将来の進路選択に参考になりましたね。将来皆さんが社会人になった時も、地域の方のためにお仕事をするという気持ちを忘れないで活躍してほしいです。

〇生徒の感想

- ・青森で働き、生活することの良さを知ることができた。
- ・成功の反対は何もしないことという言葉聞き、将来後悔しないようにたくさんのことに挑戦していきたいと思った。
- ・将来はどこで就職するかまだ決まっていないが、今回の講演で考えるきっかけになった。
- ・どの講師の方も青森の暮らしやすさや良いところをお話してくださり、青森の良さが思っていたよりあることを知ることができた。
- ・自分が将来就きたいと思う職業の魅力を見つけ、準備を少しずつ進めていきたい。

